

# つきがた児童交流会

# 第30回記念式典



## 新潟月潟×月形児童交流

昨年、新潟県月潟小学校との児童交流が始まって節目の30年を迎え、月形小5・6年生の児童が新潟を訪問し記念式典を行う予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により翌年へ延期となりました。今年こそはコロナが終息することを願い、月形小の6年生と月形中の1年生が8月上旬に新潟県への訪問を計画していました。しかし北海道では、まん延防止等重点措置が適用され、また新潟県でも過去最大の感染者数に達し、特別警報が発令され、やむなく訪問が断念となりました。



新潟の子どもたちとの再会を楽しみにしていた児童・生徒には大変残念な結果となりましたが、8月23日に児童交流30回を祝う式典がリモートで開催されました。

◆**第30回記念式典**  
月潟の金子周永実行委員会会長、上坂町長それぞれの挨拶の後、来賓として金子廣司町議会議長が紹介され、「30年のあゆみ」の映像を鑑賞しました。これまでの児童交流の思い出を月潟中学校・月形中学校の生徒代表が2人ずつ発表しました。

◆**記念品の贈呈**  
記念品の贈呈では、月潟地区からタペストリーと越後角兵衛獅子の人形、児童生徒にはミニ凧、笹団子がプレゼントされることになり、本町からは創作書「縁」の額（久保奈月書）、児童生徒には「縁」をプリントしたトートバッグとクリアファイルが贈られました。

◆**オンラインで交流**  
式典の最後には月形小の5・6年生31人と月潟小の5・6年生57人の児童がグループに分かれ、タブレットパソコンによりオンラ



▲創作書



▲トートバッグ



▲ミニ凧



▲タペストリー

越後角兵衛獅子の人形▶



インで交流しました。新潟はまだ夏休み中ということもあり各家庭から参加、本町の児童はグループごとに各教室や体育館の会場から参加しました。

◆**今後の交流について**  
月潟地区との交流については、ホームステイを通じて互いの地域を訪問する交流が30回という節目を迎えたこともあり、今後は、今回のようなオンライン交流など、これまでと異なる形式の交流を月潟地区と協議・検討していきます。

